

「開業 50 年を振り返って」

河原英雄

1967 年九州歯科大学を卒業して翌年開業、現在 78 歳になり、昨年 8 月に健康上の理由で閉院いたしました。時の流れは速いものです。

正確には 51 年間の開業ですが、福岡時代を約 30 年そして大分県佐伯市で約 20 年を過ごしました。福岡時代はインプラント、審美歯科とある意味では派手な臨床を続けてきました。その後佐伯市に移転して完全保険医となり、歯科医療とは、誰のためにあるのかということを実際に考えるようになりました。

福岡市天神という町と、佐伯市という地方郡都市との生活や習慣について多くのことを勉強させていただきました。そのような環境の激変の中で、大きく変化した私の歯科医療について臨床例を交えながら発表させていただきます。

「リマウントとフードテストの重要性」

吉田衛司

2015 年 12 月、河原先生の「箸の文化に適応した総義歯」セミナーに、いながき歯科医院長と受講させていただきました。

その後、毎日のように旧デンチャーのリマウント、新生義歯の製作を行うごとに患者様から言われていた“食べれる”ということの違いを実感いたしました。

何度調整してもリンゴ、たくわん等の硬い食べ物が食べられません。

患者様の大半が年配の方々ですので、この河原式デンチャーを取り入れたことにより、喜ばれる結果になりました。

心も体も元気にしてくれるデンチャーです。私自身も河原先生とのご縁により、技工士としてやりがいを与えていただきました。

本日は、この素晴らしい経験をお伝えできたらと思います。